

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		ドイツ語II (6 Hコース) D2501 Intermediate German			担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 島 憲男 人間・環境学研究科 外国人教師 TRAUDEN, Dieter		
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語及びドイツ語
旧群	C群	単位数	12単位	週コマ数	3コマ	授業形態	演習 (外国語) (対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・通年		曜時限	月5・水5・木5		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
ドイツ語を効率的に学んでいく週3回のドイツ語集中コースです。ドイツ語を学ぶ外国人向けにドイツで作られた教科書を用いて、ドイツ語の Native Speaker (月、水) と日本人教員 (木) とが連携して授業を行います。 各課で設定されている具体的なテーマや状況の中で必要となる実践的なドイツ語能力を「読み・書き・聞き・話す」という4技能に渡って総合的に練習していきます。生のドイツ語にできるだけ触れていくことで、ドイツ語に慣れるだけでなく、ドイツ語圏の日常生活や文化などもより身近に感じられるようになると思います。									
[到達目標]									
ドイツ語I の「6時間コース」から継続する科目ですが、それを履修していなくてもドイツ語I の学力とやる気があれば大歓迎です。京都大学には国際交流協定を結んでいるドイツ語圏の大学がありますので、ドイツ語圏への留学を考えている人は、是非このコースに積極的に参加してみてください。									
[授業計画と内容]									
週3回の一貫コースであり、部分的な受講はできません。また通年科目である点にも注意してください。 ヨーロッパ共通参照枠 (CEFR) A2レベルの語学力を身につけることが目標です。具体的には、ドイツ語を用いて以下のようなことができるようになることを目指します。 ・ドイツ語圏の日常生活の中でよく使われる文や表現を理解し、それらを使いこなすことができる ・日常生活の中でよく生じる、比較的単純な状況であれば、相手とコミュニケーションをとることができる ・日常的になじみのあるテーマについてドイツ語で情報交換ができる ・自分の出身地や学歴、身近な状況や必要なものについて簡単な言い方で説明することができる 教科書は、ヨーロッパ言語共通参照枠基準 (CEFR) のA2レベルの内容が一冊にまとめられているものを用います。この教科書は、3つの課を1つのモジュールとしてまとめ、「8つのモジュール・24課構成」となっています。各課は「導入(1頁)-構造・表現(2頁)-まとめ(1頁)」の4ページから成り立ち、各モジュールの終了後にはテキストや映像を使ってドイツ語圏事情を学ぶ発展学習のページも用意されています。 教科書に登場するテーマ・場面設定は、具体的には以下の通りです。 第1課 職業と家族 第2課 住居 第3課 ツーリズム 第4課 買い物									
----- ドイツ語II (6 Hコース) D2501(2)へ続く↓↓↓ -----									

ドイツ語II (6 Hコース) D2501(2)

第5課	市内観光
第6課	文化
第7課	スポーツ
第8課	健康と病気
第9課	仕事
第10課	レストランにて
第11課	企業
第12課	栄養
第13課	ことばを学ぶ
第14課	郵便と通信
第15課	メディア
第16課	ホテルにて
第17課	旅行と交通
第18課	天気と気候
第19課	文化的なイベント
第20課	書籍と新聞
第21課	国家と行政
第22課	移動と交通
第23課	職業訓練と職業
第24課	外国で働こう

教科書は、前期で前半の12課（1-12課）、後期で後半の12課（13-24課）を扱います。進め方の目安として、おおよそ1週間で1課を終える予定を考えています。ネイティブ教員の授業は原則としてドイツ語で行い、日本人教員の授業でその補足説明を行ったり、質問に答えたりします。また、日本人教員の授業では、教科書のいくつかの課が終わるごとに復習テストを行うなどして、着実にドイツ語の力が身につくように進めていきます。

【履修要件】

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

【成績評価の方法・観点】

原則として、授業への参加度（25％）、小テスト（25％）および学期末試験（50％）に基づいて成績評価を行います。学期末試験は、Native Speakerの教員による口述試験と、日本人教員による筆記試験を行います。

【教科書】

Habersack, Charlotte/Pude, Angela/Specht, Franz 『MENSCHEN A2, Kursbuch』（ Hueber Verlag ）
ISBN:978-3-19-101902-0

ドイツ語II (6 Hコース) D2501(3)へ続く↓↓↓

ドイツ語II (6 Hコース) D2501(3)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修 (予習・復習) 等]

- ・まずは復習が重要です。教科書に付属しているCDを授業以外でも聞いてください。新しい外国語を身につけるには、とにかく慣れることがいちばん効果的です。
- ・予習が必要な場合は、事前に指示しますので、十分事前準備をして、分からない部分を見つけ出しておいてください。
- ・第1週目の授業では、これまでの復習を簡単に行い、今後の学習につなげていきます。

[その他 (オフィスアワー等)]

各担当教員のオフィス・アワーは、初回の授業時に伝えます。